

 第296号	小千谷市 青少年育成センター	〒947-0031 小千谷市土川1丁目5番53号 Tel 0258-82-6750 Fax 0258-82-6750 相談専用電話 0258-82-6771 e-mail: s-center@city.ojiya.niigata.jp URL http://www.city.ojiya.niigata.jp/
--	-------------------	---

「至誠惻怛（しせいそくだつ）」

小千谷警察署長 長島 尋道

標題の「至誠惻怛（しせいそくだつ）」は、小千谷市にゆかりのある幕末維新の傑物、河井継之助が師と仰いだ山田方谷から贈られた言葉として知られています。

「至誠」とは、誠実であること、まごころ

「惻怛」とは、他者をいたみ、慈しむ心、思いやり

のことであり、この二つを合わせて、『まごころと思いやりがあれば、やさしくなれる。そして、目上にはまことを尽くし、目下にはいつくしみをもって接すること。こころの持ち方をこのようにすれば、物事をうまく運ぶことができる』とした教えとされています。

この言葉を贈られた河井継之助は、激動の時代の中で、どのように日々を過ごしたのかと思いをはせながら、週末には市内の名所旧跡を散策しています。

河井継之助が没してからおよそ150年の時が経ちますが、至誠惻怛の言葉は、今も変わらず大切な教えであると思っています。

人は、他者と出会い、様々な体験や経験を積み重ねながら、それぞれ成長を遂げていくわけですが、その中でこの教えを心にとどめ、こころがけていただきたいと思います。

「まごころ」と「思いやり」を持つ人物の周りには人が集まり、そういった志のある人物が困っているときには、周囲の人が手を差し伸べ、助けとなってくれます。人に優しく接することは、結果として、自らを助けることにも繋がるのです。『情けは人のためならず』のことわざのとおりです。至誠惻怛の教えが人生の道を拓くとされるのは、こうしたことにあるのだろうと私はと思っています。

一人一人が至誠惻怛を心がけることで、人を思いやり、いつくしむ人間関係が生まれ、そこには「いじめ」という問題が入り込む余地はありません。他者を理解し、個性を尊重できる、寛容で温かい関係、素晴らしい未来を皆さんと一緒に創っていきたいと思っています。

小千谷警察署は、皆さんと築き上げていく未来、そして地域の安全・安心を守るため、これからも全力を尽くしてまいります。

青少年育成センター相談電話

0258-82-6771

e-mail S-center@city.ojiya.niigata.jp

相談時間 13:00～16:00（月～金）祝日を除く

7 月は「青少年の被害・非行防止全国協調月間」です！

◎最重要課題 インターネット利用におけるこどもの性被害等の防止

- 重点課題
- ・有害環境への適切な対応
 - ・薬物乱用対策の推進
 - ・不良行為及び初発型非行(犯罪)等の防止
 - ・再非行(犯罪)の防止
 - ・重大ないじめ・暴力行為等の問題行動及びその被害への対応

令和 7 年度からは、子どもまなか社会の実現に向け犯罪等の被害から社会全体で子どもを守る気運の醸成をより一層図るため「青少年の被害・非行防止全国協調月間」と名称変更を実施し、活動に取り組むこととします。

* 小千谷市でも青少年補導委員さんの巡回や愛の一声活動が、青少年を見守り育てる活動の大きな役割を担っております。暑いなかでの活動になりますが、よろしくお願いいたします。



☆～「愛の一声」～☆ 令和 7 年 6 月～7 月

街頭声かけ活動での委員さんの感想を一部抜粋してご紹介します。

- ・今回は丁度電車の来るタイミングの駅で大勢の生徒に声かけできた。皆元気よく挨拶してくれた。
- ・（お祭り会場にて）一部人目につかない建物の裏側で、爆竹入りのピストルのおもちゃで遊んでいる小中学生がいたので声をかけた。
- ・ホントカ。の屋上で高校生 4 人がスケボーをしていました。話を聞くと小千谷の子だけでなく堀之内や越路の子もいました。職員の方に話を聞きましたが、「特に問題はない」と言っていました。
- ・下校中の小学生と多く話をすることが出来ました。何をしているのかを聞かれ、説明しましたが、このことも大事な事と感じました。
- ・駅の外で、高校生が自習をしていました。待合室は混んでいるものの、自習スペースのようなところは空いていました。せっかくいい勉強場所があるので、是非使う人が増えて欲しいと思いました。

薬のオーバードーズって何だろう

医薬品を、決められた量を超えてたくさん飲んでしまう事を「オーバードーズ」と言います。医薬品は決められた目的や用法・用量を守らないと心身に悪影響を及ぼします。

薬物乱用は絶対にダメ！ですが、市販薬でのオーバードーズ、依存症も増えています。オーバードーズの経験者は強い孤独感を抱いているケースが多いといわれています。

～あなたとあなたの大切な人の命を守るために～

令和 7 年度の青少年補導員さんの巡回活動がスタートしました。青少年育成センターも時代とともに活動の形が変わってきていますが、小千谷の子ども達を見守り、温かい声がけをしていただくことが社会全体で子ども達を守ることだと思います。よろしくお願いいたします。

（青少年育成センター）